



「明治屋」は洋食屋から始まり、東海道の宿場町「濱松」という地ゆえ、旅館からビジネスホテルへと変わり今に至る。2代目おんな支配人(女将)として手腕をふるう 内山美樹さん。

「現代のおんな城主」

naotora-chan & Ioyasu-kun



「ホテル明治屋」のルーツは、洋食屋だそうじゃ



ホテル明治屋 内山美樹さん

「お節介」が、女将の務め 明治屋の存続・発展は周囲の支えがあってこそ

お客様と接することを最も大切だとするビジネスホテル。最上階のパノラマ展望風呂やお客様に合わせた最上級の料理、お節介と思われるほどのおもてなしにファンが多い。「現代のおんな城主」になぞらえ、女将 内山美樹さんにお話を伺いました。



ホテル明治屋周辺で楽しめる、直虎ゆかりの地と、浜松市の中心部の観光マップを作成。「井伊谷周辺だけでなく、ホテル明治屋周辺にも、ぜひ訪れてほしいゆかりの地がたくさんあります！」

「人はいない、金はない」という状況は、まさに私と同じだと(笑)。そもそも私は都内のIT企業に勤めており、女将になるとは思ってもいませんでした。ところが、当時小さな旅館だった実家がビジネスホテルにしようという話になり、それに賛同していたら、いつの間

に「おんな城主直虎」と自身を重ねて、共通点や共感する部分はありますか？

女性リーダーとして普段から心がけていることはありますか？

男性スタッフにも納得して受け入れられ、認められなければなりません。そのためにも女性だからできないということがないよう、なんでもチャレンジしています。業界の会合の中には、女性を私ひとりということが多いのですが、立場やタイミングをわきまえたうえで発言はしっかりします。

女性リーダーとして普段から心がけていることはありますか？

男性スタッフにも納得して受け入れられ、認められなければなりません。そのためにも女性だからできないということがないよう、なんでもチャレンジしています。業界の会合の中には、女性を私ひとりということが多いのですが、立場やタイミングをわきまえたうえで発言はしっかりします。

女将のお仕事とは？

か私が後継者になるという展開に。ホテル業どころかサービス業もほとんど経験がなく、親のやることを見てきただけで私の女将業は始まりました。当時は「お客様は神様」というバブル期でしたから、ちょっとしたことでクレームが多く大変。女のくせにと言われ、嫌な思いもしました。そんな中、直虎と同じように、なんだかんだ助けてくれる人がたくさんいたのです。ビジネスの基本を教えてくれた父、一生懸命働くことの素晴らしさを教えてくれた母、ホテル業のおもしろさを教えてくれた業界の仲間たち、自ら進んで仕事をこなす従業員、好況時も不況時も経営者目線でシフトに入ってくれるメイクさん…。自分の力ではなく、周りに非常に恵まれていました。

今後、事業をどのようにしていきたいと考えていますか？

明治屋に関わるすべての人に幸せになりたい。特に従業員にはその家族にまで幸せになってほしいと願っています。だからここで成功したいと思っています。今、大河ドラマをきっかけにみんなが一丸となって浜松を盛り上げようと頑張っています。これからの社会は周囲とどういう関係性を持ち、どう活動していくかが大事です。創業70年以上、これからも続けていくためには、新しいこととどんどんチャレンジしていかないとダメです。情報を敏感に取り入れつつ、柔軟性をもち発展していきたいと思っています。



ホテル明治屋
浜松市中区佐藤1-1-30
☎053-465-8111
「ホテル明治屋」で検索

徳川家康により設置された気賀関所の跡地と、ぶらり 関守近藤家の歴史がのこる町

気賀さんぽ

戦国時代の気賀は、ドラマに紹介されたように、浜名湖北回りの本坂通(姫街道)沿いにある、都田川河口に港を擁した水陸交通の要衝でした。旧街道の町並みやかつての濠の跡を見ながら「気賀のまち」を歩いてみよう。

宝永4年(1707年)、遠州地方を大地震・大津波が襲う。浜名湖沿岸の田は塩水に浸かり、稲は壊滅的な被害を受けた。そこで当時の領主「近藤用庵」は、塩に強い作物として、稲の代わりに蘭草栽培を奨め窮地を救った。蘭草神社は、用庵公の徳をたたえて造られたといわれている。

西橋形の石垣をよくみると、「ひょうたん型の石」がある。職人の腕前を見せ付けるために、そのような形にしたのではないかとされている。

犬なら通れる道という意味。通行手形のない村人のために黙認という温情で設けられた関所の抜け道だそう。

大津波により津波があつたが、その津波ののって表浜名湖から奇跡的にご神体がこの場所に無事漂着したという。そのことから、地震の神様として有名になった。

大地震により津波があつたが、その津波ののって表浜名湖から奇跡的にご神体がこの場所に無事漂着したという。そのことから、地震の神様として有名になった。

気賀一帯の領主で旗本だった気賀近藤家の屋敷があった場所。この椎の木は陣屋の庭に植えられていたものと言われ、陣屋の面影を残す唯一のものとなったそう。

三代続く老舗の伝統の味。絶妙な焼き加減の鱧に濃い目の甘辛いタレが絡む。

気賀関所跡

奥浜名湖観光協会
ガイド付きで気賀の町を探索できる無料のサービス、浜松市観光おもてなしガイドもあり。
(予約☎090-1748-1114 受付9:00~18:00)
運営/奥浜名湖観光協会
※5名様以上のグループ・要予約)

みをつくし直虎棧橋(気賀の港)

堀川城跡
今川義元の家臣と村人により築かれた城。刑部城を落とした翌年、家康は三千の軍を率いて堀川城に攻め入った。

おんな城主 直虎 大河ドラマ館

気賀関所
開館時間:9:00~16:30 料/大人(個人)150円
(団体・20名以上)100円 中学生以下は無料
※70歳以上は証明できるものを提示すれば免除
★大河ドラマ館開催期間につき 関所入館料無料
(平成29年1月15日~平成30年1月14日)
忍者、侍、町娘、直虎などなりたいたい姿に変身できる“着替え体験”や“呈茶サービス”を楽しめます。(要別料金)詳しくは「気賀関所」検索

奥浜名湖の銘菓 みそまん
奥浜名湖の名物菓子。黒糖ベースのしっとりとした皮に、こし餡がぎっしり詰まった甘さ控えめのお饅頭。気賀駅周辺にはたくさんの和菓子屋があり、その味はほんのり塩味やもっちりしたものなどさまざま。みかん農家さんも休憩時間にはみそまんを英気を養っているという。どの店も夕方には売り切れてしまうほどの人気。

永禄11年(1568年)末に徳川家康が遠州攻めを行った際、今川氏真から徳川方へ離反した井伊谷三人衆のひとり、近藤康用。その子・秀用は、元和5年(1619年)井伊谷の領主となった。その後、寛永8年(1631年)領地を一族5人に分け与え近藤五家(金指・気賀・井伊谷・大谷・花平)が誕生した。そのうちの気賀近藤家は明治維新までの250年間、12代に渡って気賀を領地とし、気賀関所を治めていた。

案内してくれたのは… 金指近藤の末裔 近藤用治さん

奥浜名湖のボランティアガイドや、「観光ガイドの会」で歴史を次世代へつなぐ活動をしている。「若いころは家柄に関係ないと思っていましたが、歳をとるごとにだんだん近藤家に愛着が湧いてきました。末裔だから語れる歴史があることを誇りとし、次世代につないでいく責務があると思っています。」

